



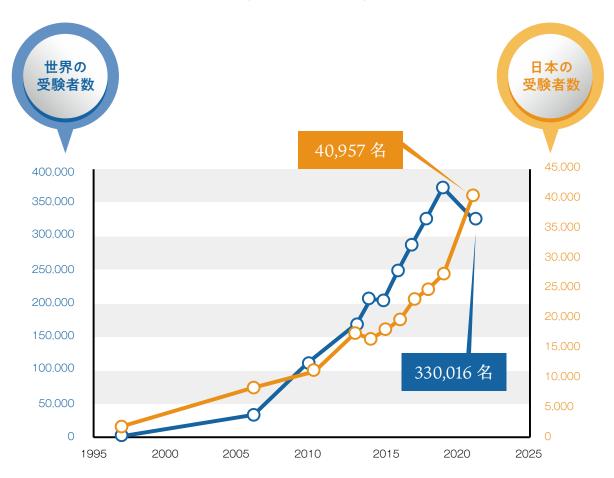
1.	于5 さ」製作の育意	02
2.	主要機関の業務分担	04
3.	企業と教育現場の採択	06
3-1.	受験者	07
3-2.	企業採用と人事評価への反映	07
3-3.	教育現場のインセンティブ	80
3-4.	大学生の学習欲を高める取り組み	09
3-5.	日韓共同高等教育留学生交流事業における優待…	09
4.	TOPIK とハン検の比較······	10
4-1.	実施概要	11
4-2.	出題形式と難易度	12
5.	試験日程と評価基準	16
5-1.	試験の日程	17
5-2.	評価基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
5-3.	合格基準	19
6.	TOPIK 試験対策のための提案 ············	20
6-1.	聞き取り	21
6-2.	筆記	23
6-3.	読解	24
ポス	スターから知る TOPIK の歩み ············	26

1.

「手引き」製作の背景

近年、韓国文化のグローバルな普及および拡大にともない、韓国という国や韓国語に興味を示す人々が非常に増えています。この影響を受け韓国語能力試験(以下、TOPIK)は、10年前と比較すると、試験を施行する国が38ヶ国から86ヶ国へと2倍以上増え、受験者も10万名から37万名へと4倍近くの伸びを示しています。日本においては、ほぼ毎年10%ほど受験者が増加してきています。特に、2021年はコロナ禍の最中にも関わらず、2019年と比較すると48%増加し、約4.1万名という歴代最高の記録を更新しました。

TOPIK 受験者の推移 (1997年~2021年)



しかしながら、広報活動が十分に行き届かず、高校、専門学校、大学などの教育現場において も、試験日程や受付方法、出題傾向などについて『「ハングル」能力検定試験』(以下、ハン検) と比べ正確に周知されていないというのが、これまでの実状でした。

そのため、各地の韓国語教員、そして関連分野に従事される方々が語学指導などでTOPIKを有効に活用できるよう、基本的な情報を収録した『TOPIKの手引き』を制作するに至りました。



2.

主要機関の業務分担

TOPIKは、大韓民国の教育省が総括、制度を施行しており、世界各国にある韓国大使館と現地教育機関などが相互協力して実施する韓国語試験であり、その機関別の協力内容は次のとおりとなります。

業務の分担

機関	業務の性格	主要業務
教育省(韓国)	総括	法律の制定・改正など制度の施行
		基本計画の樹立
国立国際教育院(韓国)	主催	世界各国の TOPIK 管理
		問題の出題及び成績処理
駐日本国大韓民国大使館	主管	日本国内の試験管理・監督
		試験管理及び運営
(八叶) 楚团教本时国	167-	広報
(公財)韓国教育財団	施行	願書受付
		運営機関への支援
運営機関	海兴	試験会場の設置
(韓国教育院・大学など)	運営	試験監督及び管理

日本においては近年、TOPIKの受験者が急激に増えており、試験会場の拡大が不可避となっています。 このため、2022年から韓国語教育機関のための団体専用試験会場(ハン検の準会場と類似)を設置 できるようにし、そのための条件など詳細は次のとおりとなります。なお、団体専用試験会場の設置 のご希望やご不明点などに関しましては、韓国教育財団HPにありますお問い合せページからご連絡 いただければ、詳細についてご案内いたします。

一般及び団体専用試験会場の詳細

区分	一般試験会場	団体専用試験会場	
対象機関	制限なし	韓国語の教育機関(大学、専門学校、高等学校、 ハングル学校、世宗学堂など)	
受験者	誰でも受験可	所属教育機関の学生、教職員などに制限	
支援事項	施設使用料	試験運営経費	
义 拨争块	試験運営経費	<u> </u>	
設置条件	・年1回以上実施できる機関・各クラス別に10人以上の受験者を確保できる機関・教育機関独自の施設内に試験場を設置できる機関・試験場の監督および運営が可能な機関		

3.

企業と教育現場の採択

受験者のTOPIK試験の目的を分類した統計によると、K-DRAMA、K-POPをとおして親しみのある韓国語を個人的に受験したいという方が多いようです。これは、学習者が留学やビジネスのためだけに韓国語を学習しているのではないことが分かります。最近は、TOPIKを企業の採用や人事考課に反映させ、大学や学校の教育課程に活用するだけでなく、韓国語学習者へモチベーションを与えるため奨学金などのインセンティブを与える教育機関も増えています。

3-1. 受験者

特に受験資格の制限はありませんが、主に以下のような方が受験しています。

- ◎ 韓国語を母語としない在外韓国人及び外国人
- 韓国国内大学への留学希望者
- 韓国国内外の企業および公共機関への就職希望者
- 韓国国外の学校に在学中、あるいは韓国国外の学校を卒業した在外韓国人
- 永住権およびビザ発給希望者など



- 韓国企業などの職員採用
- 国内の官公庁(警察庁など)の職員採用
- 日本政府観光局の通訳案内士の韓国語科目免除(6級)
- 人事評価の加算点で給与に反映





3-3. 教育現場のインセンティブ

- 単位の認定
- ⊙ 奨学金や激励金の支給
- 交換留学生の選抜時の加算点付与
- 大韓民国政府の奨学金及び留学プログラム学士課程進学(3級以上)



インセンティブの事例

	条件	単位認定	奨学金支援	その他
長崎外国語大学	2級以上合格	0	0	学長賞
専門学校神田外語学院	2級以上合格	0		
等门子仪种四外晶子院	5 級以上合格	0	0	留学支援
KM 大学	5 級以上合格	0	0	外国語学部長賞
ON 大学	2 級以上合格	0	0	留学支援
SG 大学	2 級以上合格		0	
SK 大学	1 級以上合格	0		
MY 大学	2 級以上合格	0		
INIT 大子	4級以上合格	0	0	留学支援
E 専門学校	1 級以上合格	0		
TS 高等学校	2 級以上合格	0		



3-4. 大学生の学習欲を高める取り組み

- 長崎外国語大学では、1年次入学の学生のうち、入学前に一定レベル以上の語学力を有する学生については、1年次語学科目の履修を免除し、8単位を認定するとともに、2年次科目からの履修を許可する制度を行っています。なお、語学教育における到達目標達成に伴う学生奨励金制度も運営しており、目標達成奨励金の申請は、原則として、学年暦による各学期の授業終了前までに提出します。一定レベル以上の語学力を有する学生についての「語学の達人」制度の一環として、所定の「語学能力検定試験単位申請書」を提出すると、2単位ずつ認定されます。その上、一定レベル以上の語学力を有する学生には学長から表彰状と記念品(図書券)が贈られます。
- 神田外語学院では、取得した級によって最大5単位まで認定され、卒業式の際に奨学金が支給されます。

3-5. 日韓共同高等教育留学生交流事業における優待

- 韓国の教育省と日本の文科省による「日韓共同教育留学生交流事業(学部1年課程)」では、 3級以上に合格すると韓国国費留学生審査時に優待を受けることができます。奨学金として、 入・出国航空運賃、定着支援金、学費、生活費(月約9万円)、保険料、帰国準備金が1年間 支給されます。但し、この制度は日韓大学間のMOU(協定書)締結済みの大学のみが対象 となります。
- なお、韓国の教育省と日本の文科省による「日韓共同高等教育留学生交流事業(修士・博士学位課程)」でも同様に5級以上で審査時に優待を受ける事ができます。奨学金として入・出国航空運賃、定着支援金、予備教育授業料、学費、生活費(月約12万円)、保険料、論文印刷費、帰国準備金が3年間支給されます。

4.

TOPIK とハン検の比較

日本で実施されている韓国語検定試験はTOPIKとハン検があります。この二つの試験はどちらも約30年の歴史を持っているという共通点がありますが、主催機関、試験会場、試験回数、出題形式などでかなり差があります。受験者や指導教員は、この二つの試験の特性を把握し、効率的な試験対策をとることが必要と考えられます。

4-1. 実施概要

TOPIK は韓国政府が主催し、世界的に実施される韓国語能力試験です。2021年の実施データでみると、日本国内において45ヶ所の会場で行われており、試験当日携わるスタッフ(ほとんどが韓国語教育機関の教員で構成)の数は1,000人を超える規模となります。

実施概要

	TOPIK	ハン検
主催者	国立国際教育院(韓国政府)	ハングル能力検定協会 (特定非営利活動法人)
実施回数 / 年	年3回 (4月、7月、10月)	年2回 (6月、11月)
試験会場の数	全国 45 か所	全国 35 か所 (+準会場多数)
単位として認めている高校、大学など	全国的に多くの学校で認定	全国的に多くの学校で認定
実施している国	全世界	日本国内



4-2. 出題形式と難易度

韓国で使用している言語的習慣と傾向を正確に反映しているため、TOPIKという試験は単に韓国語の能力評価という枠を越え、韓国語の学習者や教育者に対して学習と教育の方向性を提示する案内役と言えます。TOPIKとハン検の出題形式と難易度を見てみると次のとおりです。

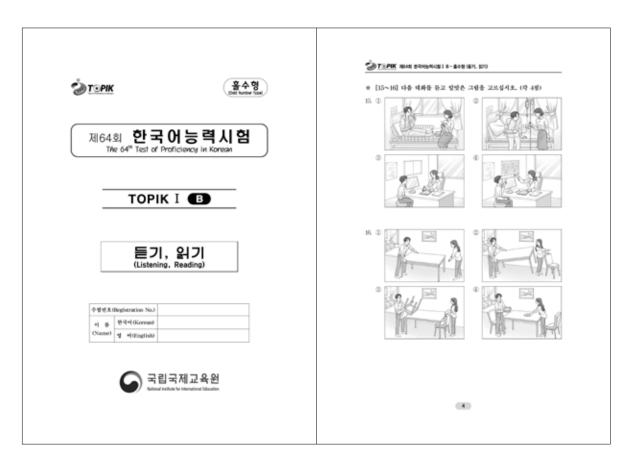
出題形式

	TOPIK	ハン検
試験問題の言語	問題及び解答ともに韓国語	問題や解答の一部に日本語あり
レベル	TOPIK I (1~2級:初級)	5級、4級、3級、準2級、
<i>V</i> · <i>VV</i>	TOPIK Ⅱ (3~6級:中上級)	2級、1級
作文	あり	なし
発音問題	なし	あり
漢字問題	なし	あり
試験結果までの期間	約 1 か月	約 1 か月

難易度の比較

	TOPIK	ハン検
TOPIK I	1 級	5級
(初級)	2級	4 級
	3級	3 級
TOPIK II	4 級	準2級
(中上級)	5級	2 級
	6級	1 級

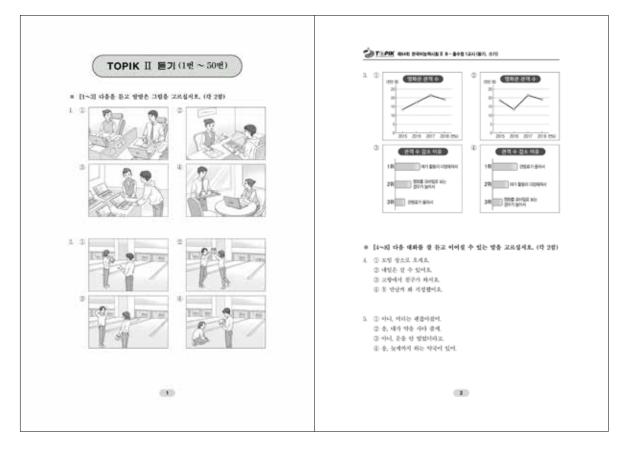
問題用紙のイメージ



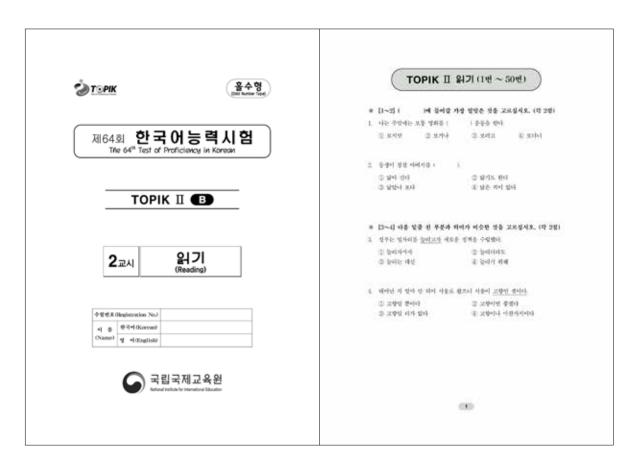
Ment Distable	사람 [마 - 홍수선 (문기 통합)	THPIK HARI BERGERANI	8-801(87) 80)
들기 등의	2 (1번 ~ 30번)	4. (3th)	
	· 앞이 불통해 맺는 해당을 고르십시오.	여자: 원구를 및 지에 만나 날자:	
가: 문역세요? 나:	- C. A.	① 제 넘이네요. ② 천구 집에 가요.	② 단이 숙제해요. ③ 주 시에 만나요.
	을 에, 에이 아니네요. 네 아니죠. 등이 맛있어요.		
1. 440)			>와 같이 이어지는 말을 고르십시오.
당자: 제소 되어요? 이라:		가: 만남리 계세요. 나:	—< <u>v</u> 1>—
① 네. 씨이 있어요. ② 아니요. 앤이 있어요.	② 네, 역수 있어요. ① 아니죠, 역수 중이네요.	① 방문하세요. ② 전념의 가세요.	② 이시 호세호. ④ 안녕히 계세호.
1. (48)		5. (41)	
세가: 구부가 커로? 남자:		날자: 수미 씨, 현세 중 주- 여자:	
① 네, 꾸두에요. ② 아니요, 꾸누가 자연요.	를 에 구작가 에어요. 를 하나요. 구작가 있어요.	① 괜찮아요. ② 여기 있어요.	② 번기위호. ④ 잘 지냈어요.
3. 040		6. (31)	
상자: 제공 최 역세요? 세수:	2.	여자: 오늘 도화력서 고마! 날자:	원어요.
① 자꾸 벡터트. ① 선명은 벡터트.	ু রক্তা খণত্ত র প্রবাস খণ্ড	① 미산배요. ② 무약배요.	② 아니네요. ④ 잘겠어요.
	00		2

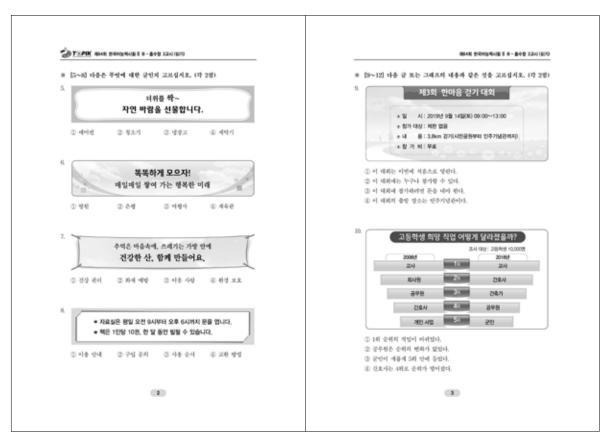
問題用紙のイメージ





問題用紙のイメージ





5.

試験日程と評価基準

TOPIKは願書受付から成績の結果照会まで約4ヶ月かかります。 TOPIKの合格証明書や成績を必要とする受験者は、このような点を 考慮して、詳細試験スケジュールを確認して対応する必要がありま す。合格基準や評価基準もレベルによってかなりの差がありますの で、高得点を目指す受験者や韓国語指導教員は、普段から関連する 内容を熟知しておくことが望ましいと思われます。

5-1. 試験の日程

日本では、TOPIKは年3回(4月・7月・10月)実施しております。各試験の願書受付は、試験日を基準とすると3カ月ほど前から開始し、約2週間に渡って財団ホームページより受付します。受験票は試験日より10日前までに登録された住所へ郵送されます。成績は、試験日より1か月後に韓国のウェブサイトにて照会ができ、印刷も可能です。印刷された成績証明書は、後日郵送される原本と同等の効力があるので急ぎで必要な方はこちらをご利用ください。

試験の時間割り

		試験領域	入室時間	開始時刻	終了時刻	試験時間		
TODIK I	1 吐門口	聞き取り	9:30	10:00	11:40	1 時間 40 台		
TOPIK I	1 時間目	読 解	9.30	10.00	11.40	1 時間 40 分		
	4 114 88 12	1 吐胆口	1 時間目	聞き取り	12:30	13:00	14:50	1 時間 50 分
торік ІІ	1 昭田日	筆 記	12.50	13.00	14.50	I 时间 OO 刀		
	2時間目	読 解	15:10	15:20	16:30	1 時間 10 分		

成績の照会ページ

https://www.topik.go.kr/TWMYPG/TWMYPG0060-001.do



5-2. 評価基準

TOPIK I とTOPIK I の評価基準を要約すると、TOPIK I の 1 級と 2 級は簡単な日常会話ができるレベル、TOPIK I の 3 級と 4 級は公共施設の利用と社会的関係形成ができるレベル、5 級と 6 級の専門分野の研究や業務遂行が出来るレベルとなります。

各級別の評価基準

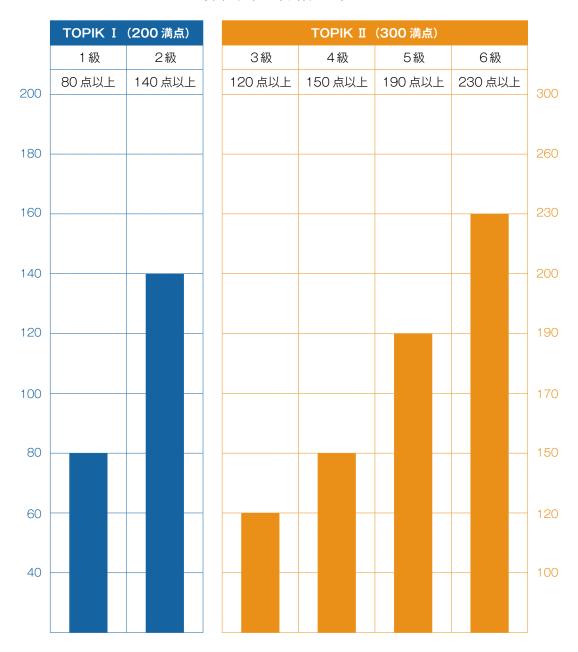
評価等級		評価基準
торік і	1級	・自己紹介、買い物、飲食店での注文など生活に必要な基礎的な言語を駆使でき、身近な話題の内容を理解、表現できる。 ・約800語程度の基礎的な語彙と基本文法を理解でき、簡単な文章を作れる。 ・簡単な生活文や実用文を理解し、構成できる。
(初級)	2級	・電話やお願い程度の日常生活に必要な言語や、郵便局、銀行などの公共機関での会話ができる。 ・約 1,500 ~ 2,000 語程度の語彙を用いた文章を理解でき、使用できる。 ・公式的な状況か非公式的な状況かの言語を区分し、使用できる。
	3級	・日常生活を問題なく過ごせ、様々な公共施設の利用や社会的関係を維持するための 言語使用が可能。 ・文章語と口語の基本的な特性を区分し理解、使用が可能。
TOPIK II	4級	・公共施設の利用や社会的関係の維持に必要な言語機能を遂行することができ、一般的な業務に必要な機能を実行できる。・ニュースや新聞をある程度理解でき、一般業務に必要な言語が使用可能。・よく使われる慣用句や代表的な韓国文化に対する理解をもとに社会・文化的な内容の文章を理解でき、使用できる。
(中上級)	5級	・専門分野においての研究や業務に必要な言語をある程度理解と使用ができ、政治・経済・社会・文化などの全般に渡った身近なテーマについて理解し、使用できる。 ・公式的、非公式的且つ口語、文語的な脈絡に関する言語を適切に区分し、使用できる。
	6級	・専門分野における研究や業務遂行に必要な言語機能を比較的正確に、流暢に使用でき、政治・経済・社会・文化などの全般的なテーマにおいて身近でないテーマに対しても不便なく使用できる。 ・ネイティブ程度までではないが、自己表現を問題なく話すことができる。

5-3. 合格基準

TOPIKの合格基準を級別に分けると次のとおりです。

まず、TOPIKの合格基準を百分率で換算すると、TOPIK I の場合、1 級 40.0%、2 級 70.0% に該当し、TOPIK II の場合は3 級 40.0%、5 級 50.0%、6 級 63.4%、5 級 76.7% 以上を取得しなければなりません。

各級別の合格基準



6.

TOPIK 試験対策のための提案

TOPIKは2014年下半期から、従来TOPIK初級、TOPIK中級、TOPIK上級の3段階であったものが、TOPIK I (1、2級)とTOPIK I (3、4、5、6級)の2段階に変更されました。それにより、従来の中級レベルの受験者はTOPIK II を受験するため、これまでより難しい試験問題に接しなければならなくなり、学習の方向性に迷いや負担を感じているのではないでしょうか。そこで、ここでは中級レベルの受験者の負担を減らしてもらうため、第64回試験問題の類型の分析を通じて、受験者が目指すレベルごとに試験対策を提案します。

6-1. 聞き取り

聞き取り問題の主な構成は次のとおりとなります。同問題は全て対話を聞き取り質問に答える 形式です。

問題の構成

	出題の傾向
1	対話の内容と合う絵を選択
2	対話を完成する
3	対話の後に続く男 or 女の行動を選択
4	対話の内容と一致する例を選択
5	対話の男 or 女の中心となる考えを選択
6	対話の内容を聞いて問いに答える (男 or 女の意図は、教養プログラム、談話、講演、ドキュメンタリーなど)

この内、韓国語の教育現場からの質問が多いTOPIK II について重点的に本手引きで紹介します。 次のページにある表を参考にしてみてください。

例えば、3級に合格するためには1番から20番までの問題を中心に、4級には1番から30番まで、5級には40番まで、6級には50番までの問題を学習することを効率的な方法として提案します。

以下、「読解問題」、「筆記問題」も同様です。(各表左にある「合格の目安」を参考)

問題の詳細

	合格の目安		!	問題の内容	詳細	問題数(各2点)
~ 3 級	\$ 4	\$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$		内容に合う絵	対話の内容と合う絵を選択	2問 (1~2)
級	級			グラフ	対話の内容と合うグラフを選択	1 問(3)
				対話の続き	対話の後に続く言葉、場所を選択	5 問(4 ~ 8)
				続く行動	対話の後に続く行動	4 問(9 ~ 12)
				内容一致	知人との会話、案内放送、ニュース、 インタビュー	4問 (13~16)
				内容の中心的な考え	17 ~ 19 の対話、20 番のインタビュー の中心的な考えを把握	4 問(17 ~ 20)
				公的対話	公的対話の中心的な考えを選択	2 問(21 ~ 22)
				公共施設での業務	公共施設での業務内容を選択	2問 (23 ~ 24)
				インタビュー	インタビュー内容と合うものを選択	2問 (25 ~ 26)
				意見や議論	意見や議論の内容と合うものを選択	2問 (27 ~ 28)
				インタビュー	インタビューの主人公は誰なのか、 また内容と合うものを選択	2 問(29 ~ 30)
				ディスカッション	ディスカッションの内容と合うものを選択	2 問(31 ~ 32)
				講演	講演内容と合うものを選択	2 問(33 ~ 34)
				現場での演説	現場での演説内容と合うものを選択	2 問(35 ~ 36)
				教養プログラム	教養プログラム内容と合うものを選択	2 問(37 ~ 38)
				対談	対談内容と合うものを選択	2 問(39 ~ 40)
				講演の中心的な考え	講演内容と合うものを選択	2問 (41 ~ 42)
				ドキュメンタリー	中心的な考え選択&内容と合うものを選択	2問 (43~44)
				講演の詳細な内容	内容と一致するもの選択&内容と 合うものを選択	2問 (45 ~ 46)
				対談	内容と一致するもの選択&男性 or 女性の行動選択	2 問(47 ~ 48)
				講演	講演内容と一致するもの選択&男性 or 女性の行動選択	2問 (49 ~ 50)

6-2. 筆記

筆記問題は実用文、説明文などの形式で出題され、日常生活で必要な表現から社会的な問題などを中心に、短長文で出題されています。日本の受験者のTOPIKの成績は世界的にみても最も優秀ですが、作文でつまづく方が多い傾向があるので、緻密な対策が必要です。

問題の構成

	出題の傾向			
1	実用文 個人的 or 案内文の文章完成(短い文章)			
2	説明文完成(短い文章)			
3	表 or グラフ説明(200 字~ 300 字)			
4	社会的な問題について述べる(600字~700字)			

筆記問題は対話の構成能力から文章の形式性まで多様な方法で評価するので、日常生活のなかで基本的な表現法などに慣れるように準備しながら、日頃から反復して練習しておくことが大事です。

問題の詳細

合格の目安		安	問題の内容	詳細	配点	問題数
~ 3 級	~ 5 級	~ 6 級	メール、お知らせなど	個人、案内文を完成する(短い文章)	10点	1 問(51)
級			説明文	説明文を完成する(短い文章)	10点	1 問(52)
			表、グラフ	表、グラフを説明する (200 字~ 300 字)	30点	1 問(53)
			社会的イシュー	社会的問題について自分の考えを述べる (600 字~ 700 字)	50 点	1 問(54)

6-3. 読解

読解問題は、文や図の理解、核心内容の把握、文章の正しい配置など次のように9つの類型で 出題されています。

問題の構成

	出題の傾向
1	指示文が表すものを選択
2	文や図に合うものを選択
3	正しい順番に並べる
4	空欄に入る内容
5	新聞記事の見出しの解釈
6	内容と一致するものを選択
7	文章の主題
8	文章が入る位置
9	問いに答える



問題の詳細

出題傾向を具体的に見ると、読解問題は文法、類似表現の選択、案内文や新聞の説明文の核心となる内容についての意味の把握など、多様な形態で出題されていることが分かります。長い文章も多いので日頃の練習が重要ですが、試験時間の確保のため、場合によっては問題の選択と集中など戦略的アプローチも必要です。

合格の目安				問題の内容	詳細	問題数(各2点)
~ 3 級	~ ~ ~ ~ 秘	~ 5 級	~ 6 級	正しい文法	空欄に入る表現を選択	2 問(1 ~ 2)
492	4924		472	似ている表現	意味の似ている表現を選択	2問(3~4)
				広告、案内文の意味把握	広告、案内文の意味と一致する ものを選択	4 問(5 ~ 8)
				案内文やグラフの意味把握	案内文やグラフが意味するものを選択	2問 (9~10)
				新聞記事の意味把握	新聞記事が意味するものを選択	2問 (11~12)
				文の順番を正しく並べる	4つの文を正しい順番にする	3問 (13~15)
				空欄に入る内容	空欄に入る内容を選択	3問 (16~18)
				説明文の意味把握	説明文と一致するものを選択	2問(19~20)
				説明文の意味把握	文章の中心的考え、慣用表現、 ことわざを選択	2問 (21 ~ 22)
				日記やエッセイの意味把握	登場人物の気分や内容と一致する ものを選択	2 問(23 ~ 24)
				新聞記事の見出し把握	新聞記事の見出しに合った説明を選択	3問 (25 ~ 27)
				空欄に入る内容	中文(5行~6行)の空欄に入る 内容を選択	4 問(28 ~ 31)
				説明文の内容把握	中文(5 行~6 行)の内容と一致 するものを選択	3問(32~34)
				文の主題把握	中文(5 行~6 行)の主題として 一番いいものを選択	4 問(35 ~ 38)
				文の位置選択	提示した文章が入る位置を選択	3問 (39~41)
				問いに答える	長文(10 行~ 16 行)の内容と 一致するもの選択	9問 (42~50)

● ポスターから知る TOPIK の歩み

1990年代~







2000年代~







2010年代~







2020年代~















- 監修駐日本国大韓民国大使館 首席教育官 梁鎬錫兼公益財団法人韓国教育財団 常務理事
- 集 埼玉韓国教育院 院長 林洙录 専門学校神田外語学院 教授 林世涓 立教大学 教授 佐々木正徳 長崎外国語大学 准教授 新里喜宣 長崎外国語大学 教授 朴永奎 (50 音順)

公益財団法人韓国教育財団 管理部長 崔明公益財団法人韓国教育財団 研究員 李東俊

- デザイン シブヤデザインファーム
- 韓国教育財団所在地〒 108-0073 東京都港区三田 4 丁目 6 番 18 号 6Fe-mail topik@kref.or.jp



公益財団法人 韓国教育財団
THE KOREA EDUCATIONAL FOUNDATION



